

平成 19 年 10 月 11 日

10月定例所長会見における高橋所長挨拶内容

- 所長の高橋でございます。本日、私からは2点申し上げます。
- まずは、発電所敷地内および周辺陸域における地質調査の実施計画についてです。
当社は、今回の地震から得られる知見を当発電所の耐震安全性評価に適切に反映することとしておりますが、先月の定例会見においてもお知らせしましたとおり、既に発電所周辺海域、周辺陸域および敷地内における地質調査を開始しております。
こうしたなか、9月19日の柏崎市議会全員協議会において、発電所敷地内および敷地近傍の断層については改めて調査を実施すべきとのご意見をいただきました。当社といたしましては、地域の皆さまからいただいたご意見も踏まえ、このたび敷地内および敷地近傍の代表的な断層の調査を実施することといたしました。
また、地震による地盤の沈下や液状化などについて評価するための地盤変状調査についても検討を進めてまいりましたが、このたび、その具体的な調査計画がまとまりました。
なお、明日、総合資源エネルギー調査会の下に設置されている耐震関係の第1回WGが開催されますが、当社からは地質・地盤調査計画の概要や発電所敷地内建屋・地盤の変動などについて報告する予定です。
- 2点目は、原子炉の内部点検についてです。
1号機につきましては、9月14日～10月1日に、第2段階の点検を実施しており、原子炉上部、原子炉中間部ならびに定期検査のために取り外して機器仮置きプール内に仮置きしていた蒸気乾燥器については、損傷・変形・脱落などの異常は確認されませんでした。
同じく機器仮置きプール内に仮置きしていた気水分離器については、9月27日に点検を実施した結果、仮置き用の脚部（4本中4本）と原子炉内へ設置する時に位置を決めるためのガイドピン（2本中2本）に変形を確認いたしました。これらは、気水分離器を仮置きするための構造物であり、機能に影響するものではありません。
また、7号機につきましては、10月8日に原子炉開放作業が完了し、10月9日に燃料集合体・制御棒の配置について異常がないことを確認しております。今後、燃料の移動作業終了後、10月22日より、原子炉上部・中間部などの点検を行う予定です。
なお、一昨日、7号機原子炉上部の水張りに伴い、水の一部がライナーを通じてレベル計に流入した事象について公表いたしました。現状の流入量はわずかですが、今後も引き続き監視を強化するとともに、原子炉ウェルライナーの点検を実施してまいります。
- 最後になりますが、当発電所といたしましては、今後も発電所設備の点検や地質調査などにしっかりと取り組むとともに、情報伝達や消防体制などの反省・教訓を

踏まえた対策を十分に検討・実施し、災害に強い発電所を構築していく所存です。
来週の10月16～17日には、地域の皆さまへの説明会を実施する予定ですが、こうした機会も活用しながら、地域の皆さまに対しても、これらの取り組みをしっかりとご説明してまいりたいと考えております。

以上

添付)

- 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX
- プレス公表（運転保守状況）

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成19年10月)

発電所運転状況

平成19年10月11日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況										補足説明
			11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	第15回定期検査中 停止期間:H19.5.4~	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第15回定期検査による停止										[3号機] ・9月19日から第10回定期検査開始(お知らせ済み)
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	第12回定期検査中 停止期間:H19.2.19~	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)	第12回定期検査による停止										
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	第10回定期検査中 停止期間:H19.9.19~	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第10回定期検査による停止										
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	停止中 停止期間:H19.7.16~	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H17.12.11)	第9回定期検査による停止										
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 停止期間:H18.11.24~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止										
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	第8回定期検査中 停止期間:H19.5.24~	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第8回定期検査による停止										
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	停止中 停止期間:H19.7.16~	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第7回定期検査による停止										
			原子炉自動停止										

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率(%) (9月末現在)	
9月	0.0%
19年度累計	32.3%
運転開始後累計	75.7%

発電所発電電力量(万kWh) (9月末現在)	
9月	0
19年度累計	1,164,943
運転開始後累計	80,191,836

ドラム缶発生量(本) (H19年度第1四半期)	
当期発生本数	629
貯蔵庫累積貯蔵本数	22,331
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H19年度第1四半期)	
使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,184
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

構内従業員データ(人) (10月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率
県内	柏崎市	815	2,286	62%
	刈羽村	84	235	6%
	その他	77	653	15%
	小計	976	3,174	84%
県外		114	705	16%
合計		1,090	3,879	-
		4,969		100%
協力企業社数(社)		462		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

来客情報(人) (9月末現在)

	9月	年度累計
地元	795	5,284
県内	603	7,621
県外	1,419	8,338
国外	17	158
合計	2,834	21,401

今後の主なスケジュール

予定日	内容
10月16・17日	新潟県中越沖地震にともなう発電所の状況についての説明会 〔刈羽会場〕10月16日:刈羽村老人福祉センター 〔柏崎会場〕10月17日:柏崎エネルギーホール
11月8日	次回定例所長会見予定
11月15日	パレエ教室(柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）
～中越沖地震関連を除く～

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
①	9月18日	—	発電所構内専用港（非管理区域）におけるけが人の発生について（区分Ⅲ）	—
②	10月5日	1号機	原子炉複合建屋低電導度廃液サンプピットへの水の流入について（区分Ⅲ）	<ul style="list-style-type: none">・当所1号機では、消火系配管の損傷により原子炉複合建屋地下5階に2,000m³の水が流入（7月19日、23日お知らせ済み）し、流入水の回収および建屋内の清掃、機器類の点検・復旧を実施している。・10月5日、清掃が終了した低電導度廃液サンプの警報装置の電源を復旧させたところ、低電導度廃液サンプピット（堰）へ水が流入していることを示す警報が発生したため、当直員が現場を確認したところ、当該ピット内に水が溜まっていることを確認。・溜まった水の量は、約2.4m³、放射能量は約4.6×10⁶ベクレル。水はサンプピット内にあり、ピットの外には出ていないことを確認し、仮設ポンプを使って同日回収済み。